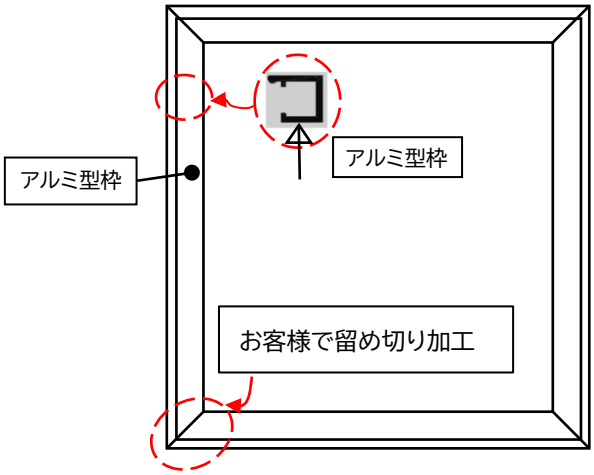
カーテンウォール工法　新設工事
タテ軸回転ドア用気密ゴム（スチール・ステンレス製）

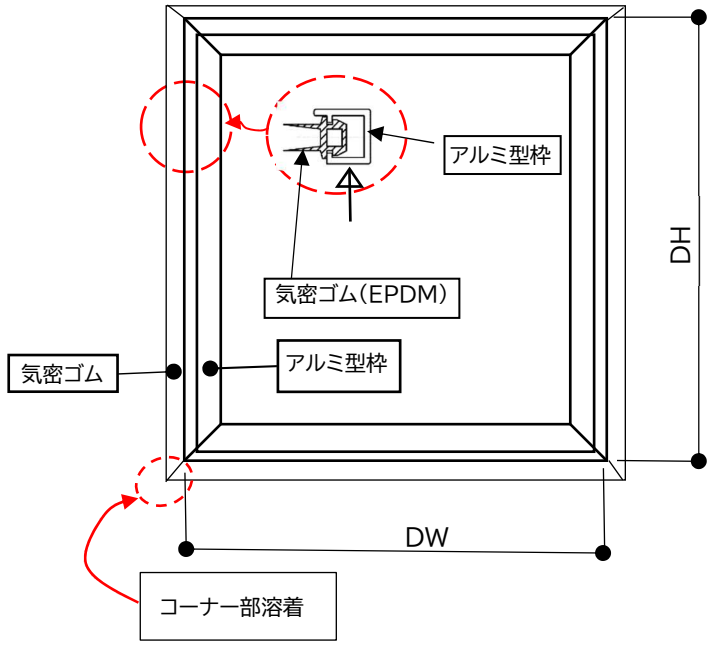
≪ 気密ゴム装着：　アルミ型枠付で　気密ゴムが うまくマッチします。 ≫

【気密ゴム装着前】



注）回転ドア用アルミ型枠の製作範囲は、
DW3400 x DH3400（mm）

【気密ゴム装着図】



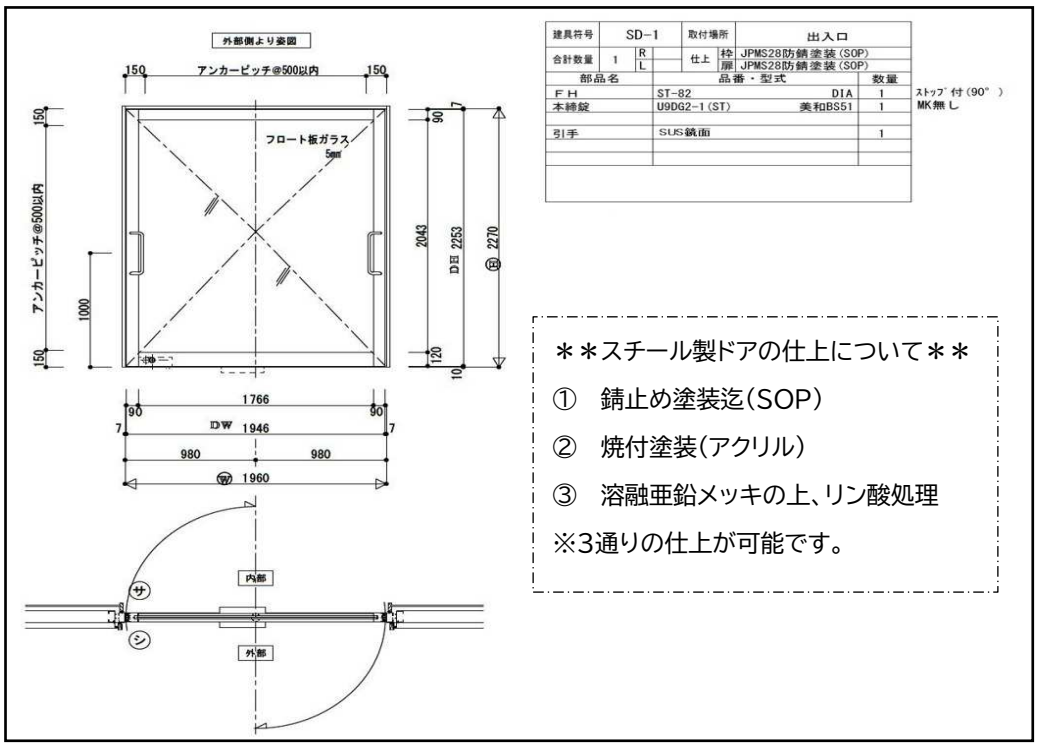
・気密ゴム固定アルミ型材（ブラックアルマイト）は、定尺（2500mm）で納入します。
　但し、受注生産として最大寸法 3500mm 迄可能です。

・気密ゴム製作は標準としてコーナー部（4ヶ所）は、加硫接着（溶着）になります。

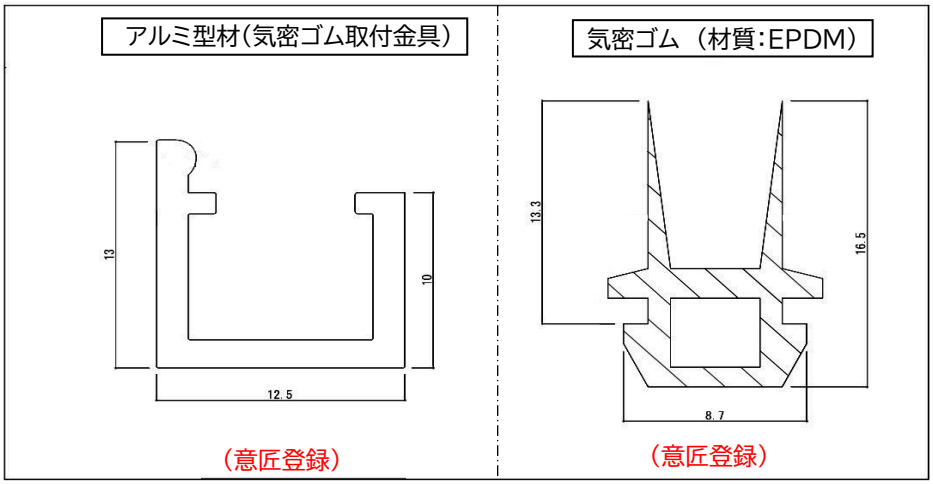
（表―1）　使用するゴムについて（特長）

CR（クロロプレンゴム）	EPDM（エチレン・プロピレン・エン・メチル）
①　耐候性が良い ②　接着性が非常に良い ③　自己消炎性である	①　耐候性が非常に良い ②　耐熱、耐寒、耐オゾン性について優れている ③　圧縮永久ひずみ（復元性）はCRより良い
※安価で改修交換に適している。	※新設工事で隙間が少なく気密性がある。

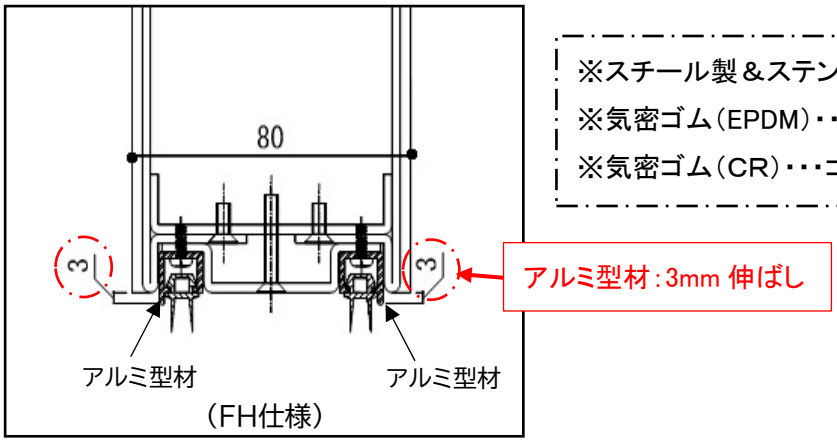
（図―1） 製作図面（参考例）



（図―2） 気密ゴム用アルミ型材 ・気密ゴム（CR・EPDM）



（図―3） 気密ゴム用アルミ型材気密ゴム（CR・EPDM）収まり図



※スチール製＆ステンレス製 タテ軸回転ドア（FH）
※気密ゴム（EPDM）・・・コーナー部（4ケ所）：加硫接着します。
※気密ゴム（CR）・・・コーナー部（4ケ所）：強力瞬間接着します。